

(4) 教 授 過 程 ( 第 2 次 取 扱 い )

学習活動・内容	時間	協 力	
		T <sub>1</sub>	T <sub>2</sub>
1. 本時の体操、走り高とびについて話し合う。 ・走る、とぶ ・走り高とび	3	1. 本時の体操、走り高とびについて説明し、話し合う。  ほかに聞きたいことはありますか。正しいとび方をしてみたいという人は、何人位いますか。	○ 学習の参加を援助する。 ○ 見学者に対する配慮をする。
2. 体操をする。 ・腕、脚、胴体の運動 ・1周かけ足 ・1回転とび ・3人手つなぎとび	7	2. 体操をさせる。 ・合図で極限までの運動 ・90°～360°の回転 ・1人とび2人援助  せいっぱい運動をしたと思う人はどれ位いますか。	○ 正確に行なう個別指導をする。 ○ 発汗や健康状態をみる。
3. 走り高とびをする。 ・各グループのめあて ・A、Bグループ 空中姿勢と着地 ・Cグループ 助走と踏み切り	30	3. 5～7歩助走でとばせる。 Aグループ ・めあてと方法の説明  ア. 助走や踏み切りに注意し、正面とびのフォームでとぶ。 イ. 踏み切り足が先に着地するようにする。 ウ. 足をひき上げるとき、両手も補助としてふりあげさせる。	3. とび箱の上からとばせる。 Bグループ ・めあてと方法の説明  ア. 腰のひねりの感覚をつかむ。 イ. 空中で腰をひねって走ってきた方向に向きを変える。 ウ. 出発点にしるしをつけ、助走、踏み切りに注意してとぶ。
4. グループごとに反省する。		4. うまくいった点や、つまづきについて話し合う。  思うようにとべなかったとか、こんな点に注意したいと気づいた人は何人位いますか。	4. うまくいった点や、つまづきについて話し合う。  この次の時間には、もっとよくとべると思う人は、何人位いますか。
5. 整理運動をする。 ・腕の屈伸 ・脚の前・後・側振 ・ひざ屈伸 6. 次期の予告を聞く。 7. あとしまつをする。	5	5. 整理運動をさせる。 ・からだの調整 ・手足の清潔  6. 3次学習について知らせる。 7. 用具のかたづけについて話す。	○ 発汗や健康状態を観察する。 ○ 用具の点検をする。